

田んぼに大きな絵を描く

ライス・アートinひらいずみ



① 会場には町民ら約300人が集まった／② 田植えのベテランたちは子どもたちを指導／③ 転ばないように一步一步慎重に歩く参加者



④ 参加者は苗を一本一本丁寧に植えていた／⑤ 約1.2㍓のほ場に植えるため、軽トラック2台分以上の苗を準備



⑥ 泥だらけになっただけで上手に田植えができました／⑦ 参加者は図柄の部分に4色の有色稲の苗に植え替える作業を実施した／⑧ 泥の感触を楽しみながら、みんなで仲良く田植え作業中／⑨ 素足での参加者が多く、作業終了後は水で泥を流した

色の異なる稲で田んぼに絵や文字を描く「ライス・アートinひらいずみ」の田植え体験が5月28日、長島地区の大区画ほ場で開催されました。

8回目を迎えた今回は、緑色のひとめぼれのほかに、白苗、黒苗、黄色苗、赤苗の4種類の有色稲を使って、「義経と秀衡の出会いの場」「おもつち」の図柄と「平泉世界遺産5周年」の文字に挑戦。

参加した町民ら約300人は、真夏のような日差しが照りつける中、素足などで田んぼに入り、稲の植え替え作業に汗を流しました。



田植え直後の図柄(5月28日)



現在の図柄の様子(6月27日)

- ▶ 場所:長島字矢崎173(高館橋北側ほ場)
- ▶ 見ごろ:7月下旬~8月中旬